



犯罪の被害者やその家族、遺族を支援する「とっとり被害者支援センター」(鳥取市西町1丁目)。専門的な研修を受けた相談員やボランティアが、電話や面接による相談、警察などの機関への付き添いを通して、被害に遭った人々の心身の回復を手伝っている。

同センターは、2008年10月に開所。鳥取県東部地区と西部地区にそれぞれ相談所があり、支援活動の一つとして被害者への付き添いを行っている。警察に被害届を提出する際に同行したり、病院での診察やカウンセリングなどに一緒に行ったりと、不慣れた環境で不安を抱くことがないようサポートしている。必

被害者や家族に寄り添う

■41□

とっとり被害者支援センター

(鳥取市西町1丁目、佐野泰弘理事長)

要に応じて弁護士などの専門家に紹介する。財源の約5割は寄付金で賄われており、県内の企業や個人からの寄付が、被害者の回復につながる活動費となっている。財源確保のために、飲食店やパン屋が商品の売り上げの一部を寄付するなど県内企業の間でも協力の動きが広がってきている。

一方、同センターの認知度は低い。県が19年に県民512人を対象に行ったアンケートによると、知っている人は3割以下だった。そこで、認知度向上のため鳥取県公民連携推進事業補助金を活用し、「涙のち 晴れ〜いっしょに虹を架けよう〜」をテーマに全国からオリジナル楽曲を募集。10月27日、鳥取市の県立図書館で、選ばれた楽曲のお披露目と制作者への表彰式が開かれた。



「涙のち晴れ」プロジェクトの映像の一場面(とっとり被害者支援センター提供)

楽曲は砂絵制作者の田村祐子さんが作った映像とコラボレーション。同センターのホームページやCMで放映し、利用を呼び掛けていく。森山慎一事務局長は「支援する機関があることを知ってもらいたい。一緒になって寄り添って考えていくので、連絡してほしい」と話した。